

レースっていいよね
第48回「やっぱり、大変でした・・・。」の巻

久しぶりのサーキットサービス！ レースウィーク、木曜の20時に会社を出発。
トランスポーターと部品デリバリー用バスで、一路東へ、東へ。
目指すは、静岡県の富士スピードウェイ。通称、FISCO。

金曜日は午前1回、午後1回。各40分のフリー走行がある。
富士の山麓とは思えない暑さと日照りで、当然、路面温度も真夏を思わせるほど高い。

ところで、今回担当する石田選手について少し・・・。
石田隆選手、現長野県茅野市の議会議員、32歳。独身。キャンギャルに妙に詳しい。
当然、若手に混じってガンガンに上を目指しているワケでは無く、趣味としてレースに参加している。



そんな背景もあって、富士を走るのは1年振り。尚且つ鈴鹿でさえ、さほど練習しているわけではないので、そもそもクルマにまだ慣れていない。この日、トップタイムが1分32秒台に入っている中、結局37秒台に留まった。

迎えた土曜日、予選。

金曜に続き良い天気。ウチは相変わらずクルマに慣れて、走るだけで精一杯。結果は昨日の練習結果通り、トップは32秒台。石田選手は37秒で19番手。それでも、昨日今日の中ではベストタイムを出すことができ、本人的にはマズマズの様子。

日曜、決勝。

朝からパドックは人が多い。さすがフォーミュラニッポン・イベント。
仕事していると、あっちこっちからキャンギャルが目の前を行ったり来たりで、目を奪われる。



……まあ、それはともかく。

富士のお客さんは熱心だ。いろんなヒトが興味深げにクルマを見ていく。みんな近くで見たそうなので、「中に入って、近くで見ていいよ」と声をかけた。そうなんだよね、仕事してるピットの中と違って、入りづらいもんね。別に、ウチはエフワンやってるワケじゃないからいつでもウェルカム。希望するヒトはクルマに乗せてあげて、チョットしたファンサービスかな？



コースインの時間が近づくと共に緊張は高まり、ダミーグリッドに着く。驚いたことに、午前中にウチのピットに来た家族連れの一団が、「頑張ってください！」と激励に来てくれた。Fポンのレースはもう終わっていたから、わざわざこのために残ってくれていたのね。



これで、グリッドがもっと前だったらカッコ良かったのにねえ・・・。

フォーメーションラップ開始、が突如の赤旗！ 15 週のレースは 14 周に減周。何度もコースとピットを行ったり来たり、しかも手にはスタート用にバッテリーを持ってるから、もうへトへト。

それでも、決勝レースは淡々と進行。先頭はガンガン飛ばして、まさにレース。10 位内と以下のグループ

は明らかに差がでて、どんどん離されていく。そんな中、石田選手は自己ベストの 36 秒をマーク。今の実力を考慮すると、良い感じかもしれない。でも、矢先にスピン。幸運にもコース復帰できたらしくチェッカーだけは辛うじて受けることが出来た。ただし、ビリである。(あと 2 周あったら、周回遅れだよ…)

レースは終わった。初めての 36 秒台という嬉しさと、ビリという悲しさという複雑な心境を残して。



[GO to TOP PAGE](#)